

科目名	農業と環境	単位数	2単位	学科・学年	畜産総合科 1年		
使用教科書	農業と環境	実教	副教材等	なし			
学習目標	<p>農業と環境では、農業に関する植物や動物の栽培や飼育、または農業や私たちの暮らしに関する環境の調査や保全などについて学びます。農業と環境の深い関わりを発見し、暮らしや地域との関係を広い視野でとらえていくことが大切です。これから3年間の農業に関する学習の基礎ともなる学習であり、物事を科学的に分析する力や、体験を通して学んだことを、これからの社会の中で生かし、実践していける力を身につけることが目標です。</p>						
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p>						
	①関心・意欲・態度	①農業、環境に関心を持ち、意欲的、積極的に取り組む態度を評価する。					
	②思考・判断	①農業と環境の関わりを通して、事象を多面的、発展的に考える姿勢を評価する。					
	③技能・表現	③具体的な事象を通して、農業における栽培技術、管理と環境との関わりや役割について表現する能力を評価する。					
	④知識・理解	④農作物の栽培と栽培環境について基本的な概念を理解し、その関わりについて、基礎知識を用語を用いて活用できる能力を評価する。					
			評価方法\観点	①	②	③	④
		学習状況観察	◎	○	○	—	机間巡視・観察
		実習	○	○	◎	○	作物の成長に応じて行います。
		ペーパーテスト	—	◎	—	◎	定期テスト
<p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p>							
履修上の注意	<p>(1) 座学と実習を行います。天候によって作業内容が変化しますので、いつでも実習ができるように実習服の準備をしておいてください。</p> <p>(2) スイートコーンやハクサイの栽培では、種まきから収穫までの栽培管理を通して、農業の楽しさや大変さを感じてください。</p>						

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
一学期	4	圃場見学、オリエンテーション 第1章 人間生活と農業と環境 1 私たちの暮らしと農業 2 人間生活と地球規模の課題 3 農業と環境の学びの世界	4	農業学習の特質、プロジェクト学習の方法、学校農業クラブ活動の目的と内容を学びます。	教科書・学習プリントに則して、板書・図等を活用し諸項目を系統的に学習します。
	5	第2章 農業生産と環境保全の基礎 1地球環境の成り立ちと役割 2動植物の営みと栽培・飼育 3栽培環境とその管理 4基礎となる環境の調査	6	動物と植物の生命活動・人と農業のかかわりについて学びます。 作物栽培に関する作物の成長と管理作業・栽培環境について学びます。	【学習状況観察】 【定期考査】 【自己評価】
	6	第3章 農業生産と環境保全の実際 1 スイートコーン ①スイートコーンの一生と栽培計画 ②畑の準備と種まき・発芽 ③初期の生育と管理 ④開花・結実と収穫	12	スイートコーンの特性、性質、管理、栽培方法などを圃場で実際に栽培しながら学びます。	圃場管理
	7				
二学期	9	2 ハクサイ ①ハクサイの一生と栽培計画 ②畑の準備と種まき、育苗・定植 ③初期の生育と管理	22	ハクサイの特性、性質、管理、栽培方法、漬物加工などを圃場で実際に栽培しながら学びます。また販売体験もします。	教科書・学習プリントに則して、板書・図等を活用し諸項目を系統的に学習します。 圃場管理 【学習状況観察】 【定期考査】 【自己評価】
	10				
	11	④結球と収穫・利用			
	12				
三学期	1	第4章 私たちの暮らしと食料・農業・農村 1 地域の農業・農村のすがたとあゆみ	16	日本の農業、農産物、食品産業及び食品産業及び食糧供給に関する基本的な内容について学びます。 また、良質で安全な食料の供給、国土・環境の保全、農業生物を活用した対人サービスなどの農業の多面的な役割についても学びます。	教科書・学習プリントに則して、板書・図等を活用し諸項目を系統的に学習します。 【学習状況観察】 【定期考査】 【自己評価】
	2	2 日本農業の現状と動向 3 世界の食料事情と食料の安定供給 4 農業・農村の多面的機能と地域の活性化			
合計時間数			60		